

令和5年度 第2回 滋賀県渋滞対策協議会

前回（令和5年8月7日）の議事内容の確認

令和6年3月4日（月）

1. 前回協議会の議事概要

- 令和5年8月7日に令和5年度第1回滋賀県渋滞対策協議会が開催された。
- 主に、滋賀県内の交通状況や主要渋滞箇所の交通状況・対策実施状況及び地域WGの進め方について議論・共有を行った。

■令和5年度 第1回滋賀県渋滞対策協議会(R5.8.7)における議事内容

議事内容

(1) 主要渋滞箇所における対策進捗状況

- ・主要渋滞箇所等の交通状況、主要渋滞箇所における対策状況及びモニタリングについて情報共有を行った。
- ・大江四丁目交差点、友定町交差点、打出浜交差点の事務局対策案を説明し、各関係機関との協議を重ねた上で事業を推進することを了承いただいた。

(2) 主要渋滞箇所における特定解除候補箇所

- ・主要渋滞箇所における特定解除フローの見直し案について概ね了承をいただいた。
- ・大路三丁目交差点、野路中央交差点、瀬田川大橋西詰交差点、石山寺三丁目西交差点、川崎町交差点を解除フローに基づき、特定解除候補として現地調査および渋滞長調査等を実施することで了承いただいた。

(3) TDM施策の推進

- ・(彦根地域)彦根市のパーク・アンド・バスライドに関する社会実験は令和4年度で終了となり、今年度はパーク・アンド・バスライドを実施せず、実施協議会の運営方針について検討中であることが報告された。
- ・(草津地域)南草津駅のロータリー改修の状況を踏まえながら、主要渋滞箇所との関連性を整理し、交通ビッグデータを活用した現状把握・効果検証など技術支援によって施策の推進を図ることで了承いただいた。

(4) 大津南部地域WGの進め方

- ・大津南部地域での渋滞対策を推進するために、本年度は大津南部地域WGを開催することを了承いただいた。
- ・次年度以降においては、他の地域についてもWGの開催を検討することで了承いただいた。

(5) 今後の進め方

- ・主要渋滞箇所について、ETC2.0プローブデータや現地調査結果等に基づき、継続的に交通状況をモニタリングをするとともに、特定解除フローに基づき特定解除を検討する。
- ・特定解除だけでなく、新たな主要渋滞箇所の選定についての検討にも着手していく。